

平成26年度全日本ベンチプレス選手権大会

平成 26 年 11 月 29-30 日

大阪府立体育館

写真提供：物江毅、澤田信司

第一日目報告：編集部、吉田寿子

本年度の全日本ベンチは、大阪協会のご尽力で、大阪府立体育館（BODYMAKER コロシウム）で、11月29-30日、開催された。門真一郎大阪協会理事長始め、大阪協会の皆様、また、関西地区の協会の皆様には、大変お世話になった。本年度より、マスターズベンチと合同で開催されることになり、二つの試合が同時に開催されるということで、ベンチを志す選手の一大イベントとなった。総勢233名もの選手が集まり、まさにビッグイベントにふさわしい盛り上がった大会となった。

各クラス、各カテゴリーとも、激しい順位争奪戦有り、日本記録樹立合戦有り、と、書き切れないほどの試合が展開され、すべてを書き尽くせず、大変、申し訳ないことだ。

記録欄では、カテゴリー別に記録をまとめてみたので、激しい戦いの跡を見ていただきたい。

第一セッション（女子47kg級、57kg級）

47kg級では、福島友佳子選手が丁寧な試技で130kgをマークして優勝した。世界では福島選手に適う選手はならず、まさに、世界の第一人者の、貫禄の試技を見せてくれた。二位には、M2日本新記録をマークした新井拓子選手が108kgを、3位には餘語てるみ選手が90kgを挙げて入った。ジュニア部門では、南采沙選手が90kgの日本新記録をマークした。1930年生まれの奥村正子選手は、若々しく、力強く、日本新記録の45.5kgは失敗したものの、42.5kgを挙げて、日本最高齢記録（84.04）を樹立、次の目標に向かって、目を輝かせておられた。「ハッキリとした目標意識」これは、奥村選手の若さの秘訣に違いない。

57kg級では、東京から岡山に引っ越した南恵美（旧姓長浜）選手と酒巻知子選手、藤原のどか選手のバトルが見ものであった。残念ながら久々の試合であったのか緊張きった南選手は、130kgでスタートしたが、実力を発揮できず、失格。酒巻選手と、藤原選手の激しいトップ争いが繰り広げられ、115kgの同記録で、酒巻選手が一般とM1の優勝を勝ち取った。3位には神奈川の津金法子選手が82.5kg、4位は兵庫県の伊藤由美子選手が3本成功で70kgをマークして入った。サブジュニア部門では小林展代選手が70.5kg、M4部門では伊川玲子選手が62.5kg



今年の全日本は大相撲大阪場所が行われる大阪府立体育館で開催された。



大きな大会を盛大に開催された大阪協会門理事長



に成功、それぞれ日本新記録を樹立した。

第二セッション（男子53kg級、59kg級）

59kg級の注目は、世界チャンピオンの木村育史選手と、元世界チャンピオンの野田俊彦選手のバトル。怪我で休んでいた野田選手は、久々の試合の緊張からか、あるいは、頭のどこかで、木村選手ともつれたら、体重差で——という無意識の思いがあったのか、体重が激減。このような世界のトップ争いとも言える戦いに臨んで、体重が調整に失敗したのは、なんともいっても、痛かった。まして、ベンチシャツを使うギアの試合に於いておや。嫌な予感通り、楽勝のはずの210kg野田選手の第一試技が重かった。白をもらえたが、決して良い試技ではない。対する木村選手は、最初から「勝ちと日本新記録狙い」を意識してタートした、216kgは失敗。第二試技野田選手同記録失敗。木村選手重量を挙げて217kg失敗。第三試技では木村選手が217kgをなんとか成功させて、日本新記録を樹立。野田選手も217kgを申告していたが、木村選手の217kg成功で、自動的に、217.5kg。これを上げれば、優勝と、日本記録が転がり込む。仲間の大声援を受けて挑戦したが、残念ながら失敗。優勝は、木村選手が勝ち取った。野田選手には、怪我を完治させて、木村選手への再挑戦を期待したい。木村選手には、世界の

頂点を目指し、連覇を期待したい。

このクラス3位には、大阪の中田和夫選手が、187.5kgをマークして入り、M1部門でも優勝した。中田選手には、大阪協会の役員としても忙しく立ち回っておられ、お世話になったことを心から感謝申し上げたい。それにしても、中田選手と共に世界のトップ争いを繰り広げてきた三重県の池田尚也選手は、中田選手に勝つべく、187.5kgに挑んだが惜しくも失敗。驚くのは、選手の層の厚さ。池田選手は3位逆転に失敗したら、順位的には8位となってしまった。岩崎、中野、木田、村上、大石選手。どの選手にもメダル獲得のチャンスがある。切磋琢磨。日本ベンチ王国の挑戦は2015年へと引き継がれる。

53kg級では、阪南大学の丹下将太選手が122.5kgをマークして優勝。岡山大学の貴田沢選手が110kgで二位に入った。サブジュニアの59kg級では、厚木商業高校の村田元輝選手とFTジムの鈴木康之選手が日本記録樹立合戦を繰り広げ、村田選手が151.5kgで優勝、鈴木選手が151kgで2位となった。

第三セッション（66kg級）

高橋恵介選手と中山久幸選手。いずれも、全日本や世界の頂点を極めて来た選手だ。その時々の調子、怪我の具合、体調などで、抜きつ、抜かれつ。さて、本年は、どのような戦い振りを見せてくれるのだろうか。階級を下げた74kg級元全日本チャンピオン福田選手、最近力をつけているという噂の広永選手。こういった選手が、



もっとシャツを勉強しなくっちゃ！未来を見つめる奥村選手

まずは一本、第一試技に挑む野田選手



高橋、中山選手にどう絡んで来るのだろうか。今回は、セコンドに入らせてもらったので、それぞれの選手の息遣いが間近に感じられ、観客席にいる以上の興味で選手を目の当たりにすることができ、とても面白い全日本ベンチだった。

さて、中山選手。第一試技 230kg をまず、確実に取る。高橋選手は、おっと、第一の 232.5kg を落とす。中山選手は、まずは、スタートをしっかりとしたことでホッとしておられるだろう。彼らは何をを考えておられるのだろうか。

「高橋選手に勝つには、体重が軽いので、次は、232.5kg でよい。高橋選手も次はとってくるだろうし、勝負は、第三試技か、まずは、第二を確実に取るのが課題だなあ。」

「大丈夫、第一試技は落としたとはいえ、練習では、何度も何度も挙げている重量。自分を信じていこう。勝負は、第三。まずは、第二をとることに集中だ。」

それぞれの思いをもって、第二試技が始まる。高橋選手これを取る。中山選手失敗。

第三では中山選手が 232.5kg に失敗して、高橋選手の優勝が決まる。更に、235.5kg の日本新記録に挑んだが、これは、失敗。とは、いえ、1、2 位に世界選手権参加の権利があることを思えば、59kg 級の木村選手・野田選手。66kg 級の高橋選手・中山選手の戦いは、あるいは、世界の舞台でも見られるのかもしれない。しんどいことだが、このしんどさが、選手を益々逞しくする。3 位には、「骨は折れても心は折れない」福田選手が、205kg をマークして入った。4 位には、広永選手で記録は、



多くの応援団が見つめる中、217kg をあげる木村選手

試合が終われば、みんな笑顔で表彰式



205kg であった。

サブジュニア部門では、興国高校の岡田治也選手が、192.5kg の日本神記録をマークし、一般の部でも 6 位に入る大健闘をした。

また、86歳と3ヶ月になられた竹井保満選手は、80kg を挙げて、日本最高齢記録をマークした。

このクラスも、59kg 級と同様で、層の厚さが半端ではない。この層の厚さが日本のベンチが、世界に抜きん出る力の源となっているのだろう。

第四セッション（74kg 級）

74kg は、「世界の児玉」が抜きん出ている、トップ争いというよりは、児玉選手がどのような記録を出されるのか、というところに注目が集まった。260kg というトテツモナイ重量を、途轍もなく、軽くにとってスタート。第二でも、これまた、軽く275kg を取る。注目は、この軽量で、300kg の大台が出るかどうか。こちらは、残念ながら失敗であったが、それにしても「K'SGYM」次々と素晴らしい選手が誕生し、強い選手が強い選手を呼び、ますます、K'S は強くなってきている。それもこれも、児玉選手の指導者としての導き方の賜物だと思う。最近では、横浜でも、K'SGYM 横浜が誕生し、



第一試技は落としたが、自分を信じて第二に挑戦だ



佐藤優輝選手がリードしておられるが、熱心な指導者の元で、選手たちがのびのびとパワーリフティングを楽しんでおられるのが、見ている者にも伝わってくる。KSを始め、ビッグガン、アサマTC、リアルスイング、ストロングライン、大学のクラブ、高校のクラブ、そしてパワーハウスグループでも、それぞれのリーダーがトレーニングに楽しみを見出し、また、指導に生きがいを持っている、そんな団体からは、多くの選手が育っている。そして、そこに参加する会員の皆さんも練習に行くのが自然と楽しみになってパワーリフティングの輪が広がる。こう考えると、パワーリフティングと JPA に所属する団体とは、パワーリフティングの振興にとって、切ってもきれない関係だと言えるのではないだろうか。特に、ギアは本当に細かいテクニックによって、成功するはずの試技でも失敗したり、もっと力があるのに力を発揮できずにいたりする選手がいる。こういった選手と共に、コーチも悩み、解決し、記録を伸ばしてくとき、ああ、ベンチプレスは面白い、と、本人だけでなく、周りにいる者も影響されるのだろうと思う。

このクラス 2 位には、クラスを下げた山下保樹選手が、227.5kg のジュニア日本新記録をマークして一般の部 2 位。



ジュニア部門 1 位となった。3 位は武器屋の奥谷選手が、225kg で入った。11 月の世界会議で、武器屋のニースリーブを始めとする、マークを含む製品が IPF 公認品として登録された。年が明ければ、大手を振って、武器屋製品も世界大会で使えるようになる。一般の部で 4 位、マスター 2 で優勝の三島忠選手は、220kg を上げて、M2 の日本新記録を樹立した。

二日目は、このクラス M 3 で、155kg を上げて優勝した物江毅氏（写真左）にご報告いただく。

第二日目報告：IPF 国際審判 JPA 監事

Team ponze 代表、物江 毅

盛り上がった初日の余韻が残る、全日本 B P 大会二日目朝 10 時過ぎ、競技は第 5 セッション女子の部から始まった。

第 5 セッション A グループ 43kg 級・52kg 級

43kg 級 JR はサブ JR で同級の日本記録保持者・早川琴果選手一人のエントリー。62.5kg で優勝、第三試技で日本記録を更新すべく 68kg に挑んだが、惜しくも失敗。ただ、早川選手のサブ JR 日本記録は昨年全日本大会で出した 70kg である。本来であれば、JR の日本記録 (JPA 技術委員会の発表 H23 年 3 月の造酒選手の 67.5kg) を上回っているの、早川さんは両クラスの日本記録保持者とされるべきであろうが、何故か 67.5kg が認定されている。この他にもノーギア PL の +120kg 級 DL で市川選手の 335kg は同級フルギアの記録をはるかに上回っているが、ノーギアのみ日本記録として認定されているなど、不備な点が多数見受けられる。関係各位の精査をお願いしたい。

52kg 級一般は、複数の世界チャンプなど、強豪目白押しで凄い盛り上がりとなった。その中でも力が抜きんでいたのは、オープンの世界大会同級現役王者・白川カオリ選手であった。手首の故障による激痛で体調最悪という事であったが、120-125-130 と三試技とも成功、現役世界王者の力とプライドを見せつけた形となった。2 位 (M2 の部優勝) には世界マスター BP 大会王者増山朱美選手で、こちらも 102.5-110-115 と三試技成功、近年にない好調さであった。

3 位は東京から岡山に引っ越した BP 界のアイドル・伊賀梓選手で 110kg。オープンの全日本 BP 大会フルギア参戦は、私の記憶によると初めてではなかったか？相変わらず強く可愛い梓さん、その素直な性格で誰からも好かれ本



緊張の試合を終えて、やりましたー！女子 52kg 級表彰

当に好感が持てる選手である。

4 位以下も凄いメンバーで、4 位 (M2 の部 2 位) 世界マスター BP チャンプ水野文江選手 100kg、5 位 PL で何度も全日本大会の頂点を極めた寺村美香選手 97.5kg、6 位世界マスター BP 大会常連・通称番長の機谷礼美選手 92.5 kg (M1 の部優勝) であった。

以下 7 位 (M1 の部 2 位) 磯田あかね選手 92.5kg、8 位岡本美樹選手 85kg、9 位田中彰子選手 82.5kg と全日本大会常連選手が続いた。

残念だったのは世界マスター BP 大会の華、宮本智子選手が 100kg を押切れず失格となってしまった事である。世界大会のサヨナラパーティーでは日本女性の美しさを毎回大会参加者に印象付けている宮本さん、来年のリベンジを期待したい。

JR の部は、櫻由貴選手が 60kg で優勝。M1 の部 3 位は塚本美紀選手で 45kg であった。

M3 の部、優勝は世界マスター BP 大会チャンプ & 世界記録保持者の古川芳子選手で 62.5kg。お孫さんの様な K'sGYM 横浜のチームメイトのセコンド二人を従え、第三試技で大台の 70kg にチャレンジするという元気さであった。BP シャツ経験 11 か月にして、その試技の安定度は驚嘆に値する。

第5セッション B グループ 63kg・72kg+84kg 級

63kg 級一般の部優勝は大ベテラン古味良子選手で 117.5kg、当然ダブルエントリーの M2 の部でも優勝。古味さんは来年 M3 になられるので、世界マスター BP 大会の選考対象は M3 である。是非ともご出場いただきたい。世界が震撼するであろう。2 位は今大会大旋風を巻き起こした K'sGYM 奥谷由香選手が 95 - 97.5 - 100 と三試技とも成功。3 位には JPA 理事、久しぶりの全日本 BP 大会出場の井原葉子選手が 97.5kg で入った (M2 の部 2 位)。

以下 4 位は 95kg の自己新に成功した工藤智恵子選手 (M1 の部優勝)。工藤さん前日はご主人の芳正さんのセコンドで健闘しておられた。試合出場毎に確実に進歩しておられるという印象だ。本年同様世界マスター BP 大会に是非ともご出場いただきたい。5 位は同記録 95kg 体重差で林和美選手 (M2 の部 3 位)、こちらもご主人の立花さんがサポートしていた。

同級 JR の部ではストロングラインで練習している石橋茜選手一人のエントリー。75-85-95 と三試技とも安定し



勝っちゃた！ あー、ちょっと悔しいかなあ？ また、がんばろうね！

よっしゃ、久々に 100kg を超える好記録、澤選手



た成功。石橋さんもどんどん BP の力を伸ばしておられる。

72kg級では、新興の K'sGYM 横浜の溝口久美選手が 110-115-120 三試技とも成功、世界マスター BP 大会不敗の女王、大ベテラン澤千代美選手をかわして優勝。澤さんも今回は減量しておらず抜群の安定感で 105 - 112.5 - 118 の三試技成功、118kg は M3 の日本新である (当然 M3 の部優勝)。3 位 (JR の部優勝) は、毎回澤さんと接戦を繰り広げる仲野衣美選手が 105kg。残念だったのは大会役員として大奮戦した東前めぐみ選手が 77.5kg に惜しくも失敗し、記録なしで終わってしまった事であった。

+ 84kg 級では、世界マスター BP 大会常連の小松麻実選手が 100kg で優勝した。

第 6 セッション A グループ 83kg 級サブ JR・JR・M 2～3

サブ JR は堀口徹也選手一人のエントリー。落ち着いて試技をし、145-152.5-160 と 3 試技とも成功、JR で既に日本を代表する選手となっている兄の耀介君同様、

豊かな将来性を感じさせてくれた。

JR は B グループに一般とのダブルエントリーで出場した長谷川直輝選手が断トツの 250kg で優勝。このグループで試技をした中では、ストロングラインの渡邊和也選手が 160kg で 2 位、海崎充弘選手が 110kg で 3 位という結果であった。残念ながら土井原健太選手、吉田大亮選手は 3 試技とも失敗という結果であった。

M2 優勝は第三試技で 220kg に成功した常連の石本直樹選手。2 位は 177.5-185-190 と 3 試技とも成功した白井武則選手、3 位には主管協会の役員として本大会大活躍の山本浩由選手が 187.5 で入った。

M3 は BP の帝王大谷進選手が 170kg で優勝、2 位にはマスターズ P L 大会でも活躍しておられる渡辺和則選手が 160kg、3 位は世界のキタノ・北野利雄選手が 155kg という結果であった。

第 6 セッション B グループ 83kg 級 一般・M1

M1 は 9 名の選手がエントリー。優勝は第三試技で 230kg を決めた小倉健二選手 (一般 4 位)、2 位は堅実に 205-215-217.5 三試技成功の佐藤信博選手 (一般 6 位)。3 位本並信康選手 215kg、4 位秋本博則選手 210kg、5 位常連の新屋敷弘明選手 200kg、6 位藤原英司選手 190kg と上位 5 名が 200kg オーバーと大変にレベルが高く、接戦であった。一階級上げて、優勝を目指した国際大会常連の鈴木重成選手は、三試技とも挙げきるのだが、試技が安定せず、残念な失格



左; M3、83kg 級優勝、大谷選手。右; イヤー初出場ですよ、頑張りますよ (石田選手)



という結果であった。来年の捲土重来に期待したい。

一般の部の本命、福島勇輝選手は、本大会寸前にプレートを足に落とし骨折、痛々しい姿で初日会場入りした。痛み止めを打ち、UPをしていると徐々に痛みが薄れたとの事で、第一試技 275kg に挑み、見事に成功。控えに戻ってきた福島さんの目にすごい気合が感じられた。第二試技 285kg にも成功し優勝確定後、第三試技で日本記録となる 310.5kg にまで挑戦、惜しくもプレス途中で一瞬バーが下がり失敗であったが、流石の試技であった。

2 位には上述した長谷川直輝選手が 250kg、3 位は鈴木貴博選手が 235kg、4 位小倉選手。

5 位にはインザー新シングレットで会場の目を奪っていた人気者松永浩二選手が 205-217.5-220 と三試技とも成功して入った。松永君は私のセコンドにも入ってくれた。ノーギア 180kg の自力からすれば、250kg でやっと及第点という想いはあるが、全日本 BP 大会で初の三試技成功という事で、今回は良しとしよう。

第7セッション 93kg 級

サブ JR 優勝は、柏木悠太郎選手 170kg、JR は優勝大室選手、2 位鈴木俊選手 165kg

一般の部は波乱の展開・結果となった。

優勝争いの本命は日本記録保持者の佐藤優輝選手、対抗が世界マスター BP チャンプの葛西昌彦選手、大穴は JR とのダブルエントリー大室豪機の同門対決に注目というのが一般的な見方であったが、何とその大穴が来てしまった。

第一試技は大室さん 255kg、葛西さん 275kg と順調に取り、ここまでは予想通りの展開。トリで登場した佐藤さんは、292.5kg を押切るが、肘不延伸で失敗。第二試技で大室さんが 277.5kg に成功し、暫定トップにたつ。葛西さんは 293.5、佐藤さんは 294 の日本記録に挑むがいずれも失敗。第三試技でも葛西さん 293.5 を押切れず、2 位以下が確定。佐藤さんは 294 を押切るが腰が浮いたという判定で失敗（着用していたシングレットが緩く、ベルトもしていないため、副審に入った澤 1 級審判員は特に腰を重点的に見ていたがはっきり浮いていたと試合後語っていた）、大変残念な失格であった。優勝が決まった大室さんは大台の 300kg に挑むがこれは押切れず、失敗。それでも世界の先輩お二人を破る大金星であった。

3,4,5 位には、全日本 PL 大会常連の久保匡平選手が 240kg、荒川孝行選手が 232.5kg、伊藤禎浩選手 232.5kg 同記録体重差で夫々入った。6 位は小笠剛志選手 207.5kg であった。

M1 優勝は葛西選手、2 位伊藤選手、3 位小笠選手、4 位竹村明久選手 200kg、5 位地元の大歓声を受けた飴谷繁章選手 192.5kg、6 位増山雄一選手 190kg という結果であった。

M2 では世界マスター BP 大会常連の北川武志選手が 212.5kg で優勝、2 位は田中哲也選手で 200kg、M3・M 4 優勝はいずれも世界マスター BP 大会常連の飯島修選手 200kg、河部勝次選手 155kg、M4 の 2 位は長島義孝選手 135kg という結果であった。

第 8 セッション 105kg 級

サブ JR にエントリーした藤本竜希選手は 14 歳、北海道の中学生。その若さにも驚いたが、何と 235kg に成功、第三試技では暫定 3 位を狙い 257.5kg に果敢に挑戦したというおまけつきで、一般の部で堂々の 4 位入賞と大健闘であった。2 位は五十嵐大輝選手で 175kg。

JR はレベルが拮抗し好試合となった。阪南大の先輩後輩である岡島拓真選手、横山恭平選手、ストロングライン及び TXP でトレをしている東洋大の石塚峻太選手の三つ巴の対戦は、第二試技終了時点で石塚君 182.5kg、横山君、岡島君が 185kg とほぼ横並び、第三試技石塚君 187.5kg に成功、暫定首位。横山君が 195kg に成功、ロット No が後で、体重の軽い岡島君は同重量 195kg を選択、これを押切り優勝岡島選手、2 位横山選手、3 位石塚選手という結果となった。3 人で 8 試技成功であった。

一般の部の優勝争いは、日本記録保持者の和田高平選手と、300kg を押せる実力のある柴田道郎選手、それに実力者の山森智行選手、和田さん、山森さんと K'sGYM の同僚梁本智弘選手、それに PL の雄・阿久津貴史選手がどう絡むかと見られていた。

第一試技阿久津さん 250kg を軽く押すが、プレスコールにややフライングで失敗。梁本さん 255kg に成功、山森さん 270kg、柴田さん 285kg に失敗、和田さんは 290kg に順調に成功。

第二試技阿久津さん落ち着いて 250kg に成功。梁本さん 270kg 失敗、山森さんバーが胸に付きづらかったのか 272.5kg に増量して挑むも失敗、柴田さんも 285 に失敗した。和田さんはややおちゃらけた仕草で 295 に挑んだが押切れずこちらも失敗。

第三試技、阿久津さんは増量を 7.5kg にとどめ 257.5kg に成功、梁本さん集中して 270kg に成功。山森さんは 275kg に増量して挑んだがこちらも失敗で記録なし。ここで第二試技 220kg に成功した伊藤智選手が 290kg を申請、大逆転優勝の大バクチを打ったが失敗 (M1 優勝)、柴田さんも挙げれば暫定トップとなる 292.5kg に挑んだが、失敗で記録なし。優勝を決めた和田さんは見事に集中して 303.5kg に挑み、これに成功。優勝に日本新記録の花を添えた。

M2 では優勝和田さん、2 位前田光生選手 215kg、3 位村中悟選手 210kg という結果であった。世界マスター BP 大会常連の中谷幸市選手は、



若干 14 歳、帰国子女、トレーニング歴 1 年、ひょっとしたら天才の誕生か！指導するプロ伊藤さん

大谷帝王及びかつての教え子小倉選手・村野選手のセコンドで 235kg に挑むが三試技とも押切れず、残念な失敗、記録なしという結果となった。前田さんとは試合後仲関西ブロック長、今大会 MC で大活躍の森崎祐里枝さんと私 4 人とで夕食を共にさせていただいた。とても紳士で且つユーモアもあり、楽しい時間であった。前田さん 2 位おめでとうございました。またお疲れのところお付き合いいただき有難うございました！

第9セッション 120kg・+120kg 級

今大会の最終セッションの注目は、何と言っても難病から手術で生還した上田真司選手が、どんな試技を見せるかという事であった。本年7月の大阪 BP 大会で公式戦復帰を 300kg で飾っているが、1年9ヶ月前兵庫の全日本 BP 大会で 400kg に挑んだ姿があまりにも強烈な印象であった。その 400kg の試技の際、私は主審という特等席で上田さんの試技を拝見した。

120kg 級

JR は、須藤健介選手が 220kg で優勝、2 位山本誠一郎選手 145kg。

JR は、渡辺峻選手が 240kg で優勝、TXP でトレしている天野敬太選手が 187.5kg で 2 位、3 位が平山健斗選手で 175kg という結果であった。

一般の部では、上記上田さんの試技及び上田さんに実力者の後藤衆治選手、原新一選手がどこまで迫るかが注目された。

第一試技、原さんは 285kg とやや軽めに入り楽々



圧巻の気合、圧巻の重量、上田選手を取り巻く大応援団。

成功、後藤さん 300kg から入りこちらも成功、上田さんは 320kg をほぼ完璧にプレスし、会場から安堵と驚愕の声が上がった。

第二試技、原さん・後藤さん共に 302.5kg に挑み失敗。上田さんは 330kg もほぼ完璧に成功、優勝決定と思われた。

第三試技、原さん・後藤さんは逆転優勝を狙い 332.5kg に挑むも、二人とも潰れ、上田さんの優勝確定。上田さんはご自身の日本記録の更新を狙い、343kg に挑みこれをプレスしたが、途中で僅かにバーが下がり失敗、それでも場内観衆、役員、チームメイトから万雷の拍手を浴びせられた。試合後の MC 塩田氏からのインタビューで家族に対する感謝の言葉を涙ながらに述べる上田さんの姿に、多くの方々が感動し、涙を浮かべて聞き入っていた。本大会の一番美しいシーンであった。

M1 は優勝後藤選手、2 位は国際大会常連、長身の岡山三紀選手 240kg、M2 優勝は鷲住松男選手 175kg であった。

+ 1 2 0 kg 級

最重量級のこのクラスはエントリー 7 名と、私が記憶する範囲では、過去最多の数となった。このクラスでも波乱が待ち受けていた。

優勝争いの筆頭は一般的には、梶井俊宏選手と見られていた。私は過去の大会で何度か梶井さんと会話させていただき、その強さと真摯なお人柄を存じあげており、全日本 BP 大会では是非とも優勝していただきたいと思っていた。

大会の 2 週間前、ストロングラインで斎藤大生選手が胸にボード 1 枚はさみ 330kg を軽々とプレスする姿を見て、私の中で斎藤君が俄然今大会超級の優勝候補 No.1 躍り出た。具体的な数字は書かなかったが、Face book に斎藤君がかなり強い旨の記事も UP した。

第一試技、世界マスター BP 大会常連の古城資久選手、242.5kg を軽く挙げたが頭部が浮き、惜しくも失敗。体重 160kg の巨漢・江添和昭選手が 250kg を軽く決めた後、梶井さんも 265kg と軽めに入り成功。斎藤君は 290kg から入るが、プレス軌道が首よりにずれ押切れず失敗。

第二試技古城さん、胸に付きやすくするためか 245kg に増量して挑むが失敗。江添さん 260kg、梶井さん 275kg、斎藤君 300kg に夫々失敗。

第三試技、古城さんは再び 245kg に挑み、これを押切る。T/C の付近で見えていた、古城さんのセコンド、高橋恵介さんや私からは成功試技に見えたが、判定は赤三。どうも腰が浮いたか、足が大幅に動いたかしたようだ。江添さんは 267.5kg に成功し暫定トップに立つ。梶井さん、集中して 275kg を決め、トップを奪い返す。さあ、斎藤君の出番だ。

300kg は胸に付きさえすればおもちゃのように軽く練習で挙げていた重量だ。頑張れ！斎藤君、福田将志さんをはじめとするストロングラインの一同が見守る中、試技開始。胸についた 300kg は、やはり軌道がずれ押切れず、福島主審の無情な「ラック！」の声が場内に響いた・・・。

優勝は梶井さん、2 位は江添さん、3 位樋口重敏選手 230kg、4 位福岡康人選手 220kg (M1 優勝) という結果であった。

斎藤君に「どんな選手でも挫折を乗り越えて強くなっていくのです。君が国際大会の最重量級で表彰台に昇るため、今回の失敗を糧として下さい」という言葉を贈らせていただく。

M2 優勝は最重量級に復帰したかつて世界マスター BP 大会の常連、氏家一郎選手 210kg であった。

大会終了後表彰式が行われたが、宿泊先に移動する時間があつたため、出席しておらず、このレポートを書いている 12 月 4 日現在では、主管協会から成績の発表がされていないため、報告はできない。記録欄をご参照願いたい。

BODYMAKER コロシウム（大阪府立体育館）第 2 競技場という大舞台で開催された本大会。主管の大阪協会役員の皆さんの奮闘と、仲間西ブロック長をはじめとする隣接の兵庫協会及び近畿各県協会の皆様のご尽力により、素晴らしい大会が遂行された事に心から敬意を評したい。

「皆さん、素晴らしい全日本 BP 大会を開催頂き、本当に有難うございました！！」

2014年度全日本ベンチプレス選手権大会

平成26年11月29-30日、大阪府立体育館

資料提供：大阪府パワーリフティング協会

一般の部

女子の部

47kg級

1	福島 友佳子	パワーハウス	1970	46.1	130
2	新井 拡子	スーパーパワーアサマトレーニング	1963	46.75	108
3	餘語 てるみ	フジモトジム	1969	46.7	90
4	植草 千秋	K's GYM横浜	1983	46.7	60

52kg級

1	白川 カオリ	パワーハウス	1963	52	130
2	増山 朱美	健宝の湯	1962	51.94	115
3	伊賀 梓	岡山大学陵門会	1985	51.4	110
4	寺村 美香	リアルスイング	1962	51.58	97.5
5	磯田 あかね	スーパーパワーアサマトレーニング	1970	51.54	92.5
6	岡本 美樹	リアルスイング	1965	49.76	85
7	田中 彰子	パワーハウスかみかわ	1964	51.34	82.5
8	松村 育子	ノーリミッツ	1983	50.7	80
9	古川 芳子	K's GYM横浜	1939	50.94	62.5
—	宮本 智子	ヴィテンののいち	1967	50.84	0

57kg級

1	酒巻 知子	ストロングライン	1965	54.85	115
2	藤原 のどか	神戸医療福祉大学	1992	56.4	115
3	津金 典子	K's GYM横浜	1971	55.4	82.5
4	伊藤 由実子	マッスルプロダクション	1976	56.4	70
—	南 恵美	エイブルスポーツクラブ	1987	55.55	0

63kg級

1	古味 良子	T-REX	1995	62.56	117.5
2	奥谷 由香	K's GYM	1984	62.62	100
3	井原 葉子	K's GYM横浜	1963	62.22	97.5
4	工藤 智恵子	マッスルプロダクション	1967	61.26	95
5	林 和美	スーパーパワーアサマトレーニング	1963	62.8	95

72kg級

1	藩口 久美	K's GYM横浜	1988	71.36	120
2	澤 千代美	パワーハウス	1949	70.02	118
3	仲野 衣美	阪南大学ウェイトトレーニング部	1993	65.5	105
—	東前 めぐみ	K's GYM	1983	71.88	0

84kg以上級

1	小松 麻実	有光自動車	1969	100.06	100
---	-------	-------	------	--------	-----

男子の部

59kg級

1	木村 育史	K's GYM	1975	58.72	217
2	野田 俊彦	パワーハウス	1979	57.8	210
3	中田 和夫	K's GYM	1967	58.52	187.5
4	岩崎 量也	西部組	1984	58.78	182.5
5	中野 衛	BIG GUNS	1975	58.66	180
6	木田 裕大	SUBSTANS X	1984	57.86	175
7	村上 孝志	B・P・S	1984	58.26	175
8	池田 尚也	リアルスタイル	1970	58.48	175
9	大石 昌宏	team 力姫長崎	1979	58.9	175
10	森 健太	K's GYM横浜	1989	58.9	160
11	白石 匡	K's GYM	1980	58.14	152.5
12	吉野 公二	個人	1969	58.56	150
13	寺門 隆太	羽衣国際大学	1993	58.24	132.5
—	石渡 啓之	パワーハウス	1959	55.94	0
—	松野 翼	K's GYM	1984	57.74	0
—	渡辺 匡宏	GBTT	1977	58.88	0

66kg級

1	高橋 恵介	BIG GUNS	1973	65.68	232.5
2	中山 久幸	ノーリミッツ	1963	63.56	230
3	福田 将志	ストロングライン	1984	65.92	205
4	広永 賢司	K's GYM	1984	65.34	197.5
5	水野 瑛	K's GYM横浜	1992	64.14	195
6	岡田 治也	興国高等学校	1996	64.72	192.5
7	芦崎 高志	チーム度肝	1971	65.2	190
8	石川 拓也	パワーハウス	1979	65.3	190
9	田中 勝之	K's GYM横浜	1980	65.88	182.5
10	角田 正義	江戸川グリーンパワー会	1972	63.24	180

11	飯村 貴弘	パワーハウスつくば	1990	64.28	180
12	矢野 秀幸	ヤノパワージム	1959	64.96	172.5
13	石田 宣央	パワーハウス	1980	65.86	150
14	石川 貴康	K's GYM	1974	65.7	137.5
15	山海 匡史	SUBSTANS X	1985	62.92	120
—	亀谷 充男	パワーハウス山口	1971	65.64	0

74kg級

1	児玉 大紀	K's GYM	1979	71.94	275
2	山下 保樹	阪南大学ウェイトトレーニング部	1991	73.84	227.5
3	奥谷 元哉	K's GYM	1980	73.58	225
4	濱田 展行	個人	1969	73.62	220
5	松岡 紀佳	K's GYM横浜	1971	73.26	212.5
6	栞山 隆	K's GYM	1972	70.18	210
7	大谷 憲弘	エスクアディア	1980	73.7	205
8	西村 義人	岡山大学陵門会	1990	68	200
9	高畑 剛春	西部組	1975	73.58	170
—	井上 和明	K's GYM	1972	72.46	0

83kg級

1	福島 勇輝	F・T. GYM	1986	82.66	285
2	長谷川 直輝	K's GYM横浜	1992	81.64	250
3	鈴木 貴博	個人	1980	80.02	235
4	小倉 健二	鎌倉パワエリジム	1966	80.36	230
5	松永 浩二	ストロングライン	1983	80.94	220
6	佐藤 信博	パワーハウス	1973	78.4	217.5
7	藤原 英司	個人	1968	79.3	190
—	中島 聡	筋肉道場馬鹿力	1985	82.62	0
—	林 克也	K's GYM	1987	82.96	0

93kg級

1	大室 豪槻	阪南大学ウェイトトレーニング部	1993	91.84	277.5
2	葛西 昌彦	K's GYM	1971	91.66	275
3	久保 匡平	京優会	1987	92.96	240
4	荒川 孝行	ゴールドジムバーベルクラブ	1978	91	232.5
5	伊藤 禎浩	個人	1969	91.66	232.5
6	小笠 剛志	パワーハウス赤穂	1974	91.76	207.5
7	田中 哲也	ノーリミッツ	1961	92.14	200
8	竹村 明久	BIG GUNS	1973	92.68	197.5
—	佐藤 優輝	K's GYM横浜	1983	90.72	0

105kg級

1	和田 高平	K's GYM	1964	104.1	303.5
2	梁本 智弘	K's GYM	1986	103.48	270
3	阿久津 貴史	TXP	1982	104.3	257.5
4	藤本 竜希	リアルスイング	2000	94.82	235
5	伊藤 智	K's GYM	1966	103.84	220
6	村中 悟	高岡TC	1964	98.14	210
7	松本 誠	K's GYM横浜	1991	93.5	205
—	柴田 道郎	パワーハウスつくば	1978	104.22	0
—	山森 智行	K's GYM	1972	104.7	0

120kg級

1	上田 真司	K's GYM	1972	116.76	330
2	後藤 衆治	個人	1968	112.92	300
3	原 新一	パワーライン	1973	118.28	285
4	柳川 大貴	リアルスイング	1976	119.44	282.5
5	岡山 三紀	北海道医療大学WTC同門会	1972	109.02	240
6	鷲住 松男	POWER BOMB! GYM	1959	117.52	175
—	梅林 恭行	SUBSTANSCE X	1983	115.94	0

120kg以上級

1	梶井 俊宏	阪南大学体育会WT部OB会	1980	120.02	275
2	江添 和昭	パワーハウス	1975	159.78	267.5
3	樋口 重敏	個人	1977	130.28	230
4	福嶋 康人	パワーハウス山口	1965	135.54	220
—	古城 資久	パワーハウス赤穂	1958	122.58	0
—	齋藤 大生	ストロングライン	1990	148	0

サブジュニア

女子の部

57kg級

1	小林 展代	春日部共栄高等学校	1997	56.6	70.5
---	-------	-----------	------	------	------

男子の部

53kg級

一	森田 篤史	浦和学院高等学校	1998	52.36	0
---	-------	----------	------	-------	---

59kg級

1	村田 元輝	厚木商業高校	1997	58.46	151.5
---	-------	--------	------	-------	-------

2	鈴木 康之	F・T. GYM	1996	57.86	151
---	-------	----------	------	-------	-----

一	植木 信芳	個人	1996	58.78	0
---	-------	----	------	-------	---

66kg級

1	岡田 治也	興国高等学校	1996	64.72	192.5
---	-------	--------	------	-------	-------

74kg級

1	岩田 宏希	パワーハウスつくば	1997	69.18	145
---	-------	-----------	------	-------	-----

83kg級

1	堀口 徹也	浦和学院高等学校	1997	81.66	160
---	-------	----------	------	-------	-----

93kg級

1	柏木 悠太郎	春日部共栄高等学校	1997	91.64	170
---	--------	-----------	------	-------	-----

105kg級

1	藤本 竜希	リアルスイング	2000	94.82	235
---	-------	---------	------	-------	-----

2	五十嵐 大輝	K's GYM横浜	1996	93.26	195
---	--------	-----------	------	-------	-----

120kg級

1	須藤 健介	コスモススポーツ	1997	118.96	220
---	-------	----------	------	--------	-----

2	山本 誠一郎	スポーツジムB&F	1996	119.16	145
---	--------	-----------	------	--------	-----

ジュニアの部

女子の部

43kg級

1	早川 琴果	阪南大学ウェイトトレーニング部	1995	43	62.5
---	-------	-----------------	------	----	------

47kg級

1	南 采沙	京都学園大学パワーリフティ	1993	47	90
---	------	---------------	------	----	----

2	入船 美月	阪南大学ウェイトトレーニング部	1994	46.7	65
---	-------	-----------------	------	------	----

52kg級

1	櫻 由貴	神戸医療福祉大学	1995	51.34	60
---	------	----------	------	-------	----

57kg級

1	藤原 のどか	神戸医療福祉大学	1992	56.4	115
---	--------	----------	------	------	-----

63kg級

1	石橋 茜	東洋大学	1993	60.94	95
---	------	------	------	-------	----

72kg級

1	仲野 衣美	阪南大学ウェイトトレーニング部	1993	65.5	105
---	-------	-----------------	------	------	-----

男子の部

59kg級

1	木村 和正	岡山大学ウェイトトレーニング部	1994	58.1	140
---	-------	-----------------	------	------	-----

2	竹尾 将汰	ストロングライン	1992	58.66	140
---	-------	----------	------	-------	-----

3	寺門 隆太	羽衣国際大学	1993	58.24	132.5
---	-------	--------	------	-------	-------

4	谷澤 直紀	ストロングライン	1995	58.38	127.5
---	-------	----------	------	-------	-------

5	丹下 将太	阪南大学ウェイトトレーニング部	1992	50.56	122.5
---	-------	-----------------	------	-------	-------

6	貴田 沢	岡山大学ウェイトトレーニング部	1994	50.56	110
---	------	-----------------	------	-------	-----

66kg級

1	水野 瑛	K's GYM横浜	1992	64.14	195
---	------	-----------	------	-------	-----

2	神谷 篤季	北海学園パワーリフティ	1992	65.4	145
---	-------	-------------	------	------	-----

一	古川 琢真	GBTT	1993	64.58	0
---	-------	------	------	-------	---

一	佐上 大幸	岡山大学ウェイトトレーニング部	1993	65.94	0
---	-------	-----------------	------	-------	---

74kg級

1	山下 保樹	阪南大学ウェイトトレーニング部	1991	73.84	227.5
---	-------	-----------------	------	-------	-------

2	逢野 崇大	阪南大学ウェイトトレーニング部	1994	72.98	206.5
---	-------	-----------------	------	-------	-------

3	村野 知永	阪南大学ウェイトトレーニング部	1994	73.96	202.5
---	-------	-----------------	------	-------	-------

4	高山 由成	日本橋学館大学	1993	73.02	200
---	-------	---------	------	-------	-----

5	池田 武	日本橋学館大学	1993	73.92	190
---	------	---------	------	-------	-----

6	秋山 裕介	ストロングライン	1995	73.08	145
---	-------	----------	------	-------	-----

83kg級

1	長谷川 直輝	K's GYM横浜	1992	81.64	250
---	--------	-----------	------	-------	-----

2	佐藤 紳一郎	北海学園パワーリフティ	1993	80.24	180
---	--------	-------------	------	-------	-----

3	渡邊 和也	ストロングライン	1993	82.56	175
---	-------	----------	------	-------	-----

4	海崎 充弘	羽衣国際大学	1995	82.2	110
---	-------	--------	------	------	-----

一	吉田 大亮	阪南大学ウェイトトレーニング部	1995	80.5	0
---	-------	-----------------	------	------	---

一	土井原 健太	岡山大学ウェイトトレーニング部	1994	79.3	0
---	--------	-----------------	------	------	---

93kg級

	大室 豪槻	阪南大学ウェイトトレーニング部	1993	91.84	277.5
--	-------	-----------------	------	-------	-------

	鈴木 俊	北海学園パワーリフティ	1992	86.52	165
--	------	-------------	------	-------	-----

105kg級

1	松本 誠	K's GYM横浜	1991	93.5	205
---	------	-----------	------	------	-----

2	岡嶋 拓真	阪南大学ウェイトトレーニング部	1992	94.38	195
---	-------	-----------------	------	-------	-----

3	横山 恭平	阪南大学ウェイトトレーニング部	1994	104.08	195
---	-------	-----------------	------	--------	-----

4	石塚 峻太	東洋大学	1994	103.22	187.5
---	-------	------	------	--------	-------

120kg級

1	渡辺 峻	北海学園パワーリフティ部	1992	111.48	240
---	------	--------------	------	--------	-----

2	天野 敬太	国士舘大学	1993	111.04	182.5
---	-------	-------	------	--------	-------

3	平山 健斗	岡山大学ウェイトトレーニング部	1993	117.76	175
---	-------	-----------------	------	--------	-----

マスター1の部

女子の部

47kg級

1	餘語 てるみ	フジモトジム	1969	46.7	90
---	--------	--------	------	------	----

52kg級

1	機谷 礼美	パワーハウス赤穂	1966	50.22	92.5
---	-------	----------	------	-------	------

2	磯田 あかね	スーパーパワーアサマトレーニング	1970	51.54	92.5
---	--------	------------------	------	-------	------

3	塚本 美紀	パワーハウス	1974	50.66	45
---	-------	--------	------	-------	----

一	宮本 智子	ヴィテンののいち	1967	50.84	0
---	-------	----------	------	-------	---

57kg級

1	酒巻 知子	ストロングライン	1965	54.85	115
---	-------	----------	------	-------	-----

2	津金 典子	K's GYM横浜	1971	55.4	82.5
---	-------	-----------	------	------	------

63kg級

1	工藤 智恵子	マッスルプロダクション	1967	61.26	95
---	--------	-------------	------	-------	----

72kg級

1	後藤 啓恵	リアルスイング	1966	68.08	0
---	-------	---------	------	-------	---

84kg以上級

1	小松 麻実	有光自動車	1969	100.06	100
---	-------	-------	------	--------	-----

男子の部

59kg級

1	中田 和夫	K's GYM	1967	58.52	187.5
---	-------	---------	------	-------	-------

2	池田 尚也	リアルスタイル	1970	58.48	175
---	-------	---------	------	-------	-----

3	吉野 公二	個人	1969	58.56	150
---	-------	----	------	-------	-----

4	田中 祐一郎	個人	1967	58.24	147.5
---	--------	----	------	-------	-------

66kg級

1	高橋 恵介	BIG GUNS	1973	65.68	232.5
---	-------	----------	------	-------	-------

2	芦崎 高志	チーム度肝	1971	65.2	190
---	-------	-------	------	------	-----

3	九野 毅	PEACE GYM	1968	64.26	170
---	------	-----------	------	-------	-----

4	石川 貴康	K's GYM	1974	65.7	137.5
---	-------	---------	------	------	-------

一	亀谷 充男	パワーハウス山口	1971	65.64	0
---	-------	----------	------	-------	---

一	岩本 誠一郎	パワーハウス	1968	65.82	0
---	--------	--------	------	-------	---

74kg級

1	濱田 展行	個人	1969	73.62	220
---	-------	----	------	-------	-----

2	松岡 紀佳	K's GYM横浜	1971	73.26	212.5
---	-------	-----------	------	-------	-------

3	栢山 隆	K's GYM	1972	70.18	210
---	------	---------	------	-------	-----

4	守山 哲郎	MAT	1971	72.56	200
---	-------	-----	------	-------	-----

5	山本 英嗣	個人	1973	72.82	180
---	-------	----	------	-------	-----

一	井上 和明	K's GYM	1972	72.46	0
---	-------	---------	------	-------	---

一	林 健一郎	パワーハウス山口	1967	72.82	0
---	-------	----------	------	-------	---

83kg級

1	小倉 健二	鎌倉パワエリジム	1966	80.36	230
---	-------	----------	------	-------	-----

3	佐藤 信博	パワーハウス	1973	78.4	217.5
---	-------	--------	------	------	-------

3	本並 伸康	WTC藤井寺	1968	82.74	215
---	-------	--------	------	-------	-----

4	秋本 博則	パワーハウス山口	1969	81.92	210
---	-------	----------	------	-------	-----

5	新屋敷 弘明	パワーハウス	1966	81.3	200
---	--------	--------	------	------	-----

6	藤原 英司	個人	1968	79.3	190
---	-------	----	------	------	-----

7	宮本 崇行	K's GYM	1973	80.44	190
---	-------	---------	------	-------	-----

8	小川 光寿	竹田運輸倉庫(株)	1971	82.26	180
---	-------	-----------	------	-------	-----

一	鈴木 重成	個人	1973	81.82	0
---	-------	----	------	-------	---

93kg級

1	葛西 昌彦	K's GYM	1971	91.66	275
---	-------	---------	------	-------	-----

2	伊藤 禎浩	個人	1969	91.66	232.5
---	-------	----	------	-------	-------

3	小笠 剛志	パワーハウス赤穂	1974	91.76	207.5
---	-------	----------	------	-------	-------

4	竹村 明久	BIG GUNS	1973	92.68	197.5
---	-------	----------	------	-------	-------

5	飴谷 繁章	スポーツジムB&F	1969	90.14	192.5
---	-------	-----------	------	-------	-------

6	増山 雄一	パワーハウス山口	1972	85.96	190
---	-------	----------	------	-------	-----

105kg級

1	伊藤 智	K's GYM	1966	103.84	220
---	------	---------	------	--------	-----

一	山森 智行	K's GYM	1972	104.7	0
---	-------	---------	------	-------	---

120kg級

1	後藤 衆治	個人	1968	112.92	300
---	-------	----	------	--------	-----

2	岡山 三紀	北海道医療大学WTC同門会	1972	109.02	240
---	-------	---------------	------	--------	-----

120kg以上級

	福嶋 康人	パワーハウス山口	1965	135.54	220
--	-------	----------	------	--------	-----

マスター2の部

女子の部

47kg級

1	新井 拡子	スーパーパワーアサトレニング	1963	46.75	108
---	-------	----------------	------	-------	-----

52kg級

1	増山 朱美	健宝の湯	1962	51.94	115
2	水野 文江	ゴールドジム名古屋金山	1959	51.12	100
3	寺村 美香	リアルスイング	1962	51.58	97.5
4	田中 彰子	パワーハウスかみかわ	1964	51.34	82.5
5	浅川 圭子	パワーハウス	1961	51.2	67.5

57kg級

1	長瀬 悦子	Rock On	1955	55	50
---	-------	---------	------	----	----

63kg級

1	古味 良子	T-REX	1955	62.56	117.5
2	井原 葉子	K's GYM横浜	1963	62.22	97.5
3	林 和美	スーパーパワーアサトレニング	1963	62.8	95

男子の部

59kg級

1	三浦 浩	パークレイズ証券	1964	48.58	155
2	橋本 雅人	ゴールドジム神戸元町	1957	58.02	132.5
3	小林 貴志	BIG GUNS	1961	58.26	130
4	椎木 智良	ストロングライン	1964	58.98	120
5	飯塚 進市	水戸市パワーリフティング協会	1956	58.56	115
—	石渡 啓之	パワーハウス	1959	55.94	0

66kg級

1	矢野 秀幸	ヤノパワージム	1959	64.96	172.5
2	森 敬	個人	1963	65.86	155
3	中村 英明	パワーハウス	1960	65.76	137.5
—	李 炳八	水戸市パワーリフティング協会	1958	64.92	0
—	神岡 俊輔	高知市消防局パワーリフティ	1957	65.64	0

74kg級

1	三島 忠	K's GYM	1962	73.4	220
2	井出 光弘	F・T GYM	1961	73.36	197.5
3	松岡 俊男	スーパーパワーアサトレニング	1963	72.1	162.5
4	佐伯 博文	西部組	1964	73.04	160
5	寺門 浩之	パワーハルクジム	1960	70.5	140
6	内村 政夫	コスモススポーツ	1959	73.22	132.5
7	工藤 芳正	マッスルプロダクション	1962	73.34	130
8	品川 秀樹	エスクアティア	1964	72.76	120

83kg級

1	石本 直樹	岩崎BC津山	1962	82.6	220
2	白井 武則	マッスルプロダクション	1960	79.76	190
3	山本 浩由	スポーツジムB&F	1960	81.8	187.5
4	佐藤 一夫	パワーハウス	1961	78	160
5	当麻 泰久	スーパーパワーアサトレニング	1956	82.4	142.5
6	石田 耕作	パワーハウス	1955	79.02	135

93kg級

1	北川 武志	K's GYM	1958	87.78	212.5
2	田中 哲也	ノーリミッツ	1961	92.14	200
—	村山 幸教	個人	1963	90.86	0

105kg級

1	和田 高平	K's GYM	1964	104.1	303.5
2	前田 光生	チーム鉄腕	1960	101.3	215
3	村中 悟	高岡TC	1964	98.14	210
—	中谷 幸市	国土館高等学校PL部	1960	104.3	0

120kg以上級

1	氏家 一郎	スーパーパワーアサトレニングクラブ	1957	134.02	210
2	古城 資久	パワーハウス赤穂	1958	122.58	0

マスター3の部

女子の部

47kg級

	奥村 正子	新日織住金鹿島	1930	46.85	42.5
--	-------	---------	------	-------	------

52kg級

	古川 芳子	K's GYM横浜	1939	50.94	62.5
--	-------	-----------	------	-------	------

57kg級

	長尾 優子	個人	1950	55	65
	伊川 玲子	個人	1939	55.8	62.5

72kg級

	澤 千代美	パワーハウス	1949	70.02	118
--	-------	--------	------	-------	-----

男子の部

59kg級

1	伊差川 浩之	POWERSPORT	1953	57.68	157.5
---	--------	------------	------	-------	-------

66kg級

1	佐藤 恵二	個人	1952	65.44	155
2	澤田 信司	パワーハウス	1947	65.12	120
3	山本 大郎	烈剛河内	1950	61.44	110

74kg級

1	物江 毅	Team Ponze	1952	73.4	155
2	田中 光章	B. P. S	1953	73.34	140

83kg級

1	大谷 進	パワーハウス	1952	80.98	170
2	渡辺 和利	今治パワーリフティングク	1952	81.52	160
3	北野 利雄	K&B GYM	1946	82.54	155

93kg級

1	飯島 修	パワーハウス	1954	88.92	200
---	------	--------	------	-------	-----

マスター4の部

男子の部

59kg級

1	大瀧 順巳	スーパーG名古屋	1942	54.5	100
---	-------	----------	------	------	-----

66kg級

1	段安 忠信	個人	1944	64.18	135
2	山本 茂樹	個人	1943	65	125
3	佃 忠和	K's GYM横浜	1944	63.16	110
4	照井 清	個人	1941	65.22	95
5	竹井 保満	烈剛河内	1928	61.7	80

74kg級

1	緒方 学	パワーハウス山口	1941	71.44	135
2	安居 民雄	高岡トレーニングクラブ	1942	73.22	117.5
3	阪口 勝美	個人	1940	70.66	115
4	熊倉 英夫	ストロングライン	1936	70.62	105

93kg級

1	河部 勝次	コベルコトレーニングクラブ	1942	92.34	155
2	長島 義孝	個人	1944	92.14	135

ベストリフター

文部科学大臣杯 男子、74kg級、児玉大紀

男子の部

サブジュニア	岡田 治也	(66kg級)
ジュニア	大室 豪大	(93kg級)
一般	児玉 大紀	(74kg級)
M1	高橋 恵介	(66kg級)
M2	和田 高平	(105kg級)
M3	伊差川浩之	(59kg級)
M4	段安 忠信	(66kg級)

団体戦

全日本ベンチ都道府県対抗

男子の部	1位	大阪府	60点
	2位	東京都	42
	3位	神奈川県	32
	4位	茨城県	22
	5位	北海道	20
	6位	富山県	18

全日本ベンチクラブ対抗の部

男子の部	1位	K'S GYM	57点
	2位	パワーハウス	30
	3位	K'S GYM 横浜	27
	4位	FT GYM	26
	5位	BIG GUNS	21
	6位	ストロングライン	14

全日本マスターズベンチ都道府県対抗

男子の部	1位	大阪府	60点
	2位	東京都	57
	3位	神奈川県	49
	4位	富山県	40
	5位	茨城県	39
	6位	兵庫県	39

全日本マスターズベンチクラブ対抗の部

男子の部	1位	K'S GYM	60点
	2位	パワーハウス	50
	3位	パワーハウス山口	36
	4位	BIG GUNS	27
	5位	アサマトレーニングクラブ	26

全日本ジュニアサブジュニア都道府県対抗

男子の部	1位	神奈川県	57
	2位	関西学連	54
	3位	北海道学連	39
	4位	全高連	36
	5位	埼玉県	29
	6位	関東学連	29

女子の部	1位	関西学連	33
------	----	------	----

女子の部

サブジュニア	小林 展代	(57kg級)
ジュニア	藤原のどか	(57kg級)
一般	福島友佳子	(47kg級)
M1	酒巻 知子	(57kg級)
M2	新井 拡子	(47kg級)
M3	澤 千代美	(72kg級)

女子の部	1位	神奈川県	44点
	2位	東京都	36
	3位	兵庫県	35
	4位	大阪府	9

女子の部	1位	K'S GYM 横浜	37
	2位	パワーハウス	33
	3位	アサマトレーニングクラブ	21
	4位	K'S GYM	9

女子の部	1位	神奈川県	51点
	2位	兵庫県	40
	3位	東京都	38
	4位	埼玉県	33

女子の部	1位	パワーハウス	38
	2位	K'S GYM 横浜	30
	3位	アサマトレーニングクラブ	29

全日本ジュニアサブジュニアクラブ対抗

男子の部	1位	阪南大学	50
	2位	K'S GYM 横浜	45
	3位	岡山大学	41
	4位	北海学園大学	39
	5位	ストロングライン	29